KITA NO NOUSYOKUKA

北の農職家

2025
3
No.339

JAつべつ青年部 第46回定期総会

開催日時：２月12日㈬
開催場所：JA本所会議室

JAつべつ

ＪＡ情報館

国営農地再編整備事業　施工１０年間に幕！

令和７年２月８日、津別町中央公民館において、「国営農地再編整備事業 津別地区 完成祝賀会」が開催されました。

式典には、網走網走開発建設部、オホーツク総合振興局の皆様をはじめ、衆議院議員 武部 新氏、川原田 英世氏、北海道議員高橋文明 氏（秘書代理）、津別町長・町議会議員、事業推進協議会役員、事業関係者などおよそ 51 名の方々が出席されました。

開会にあたり佐藤町長より、平成 27 年度の着工以来 10 年の歳月を経て、総事業 174 億円の事業費を投入し完了に至った事について、北海道開発局をはじめ関係各位の皆様に感謝を述べ、当時の厳しい採択状況のなか、インパクトのあるＰＲは無いかと考え、思いついたのがＪＡつべつ広報誌「北の農職家」に連載された表紙「若い後継者の家族写真」を事業提案書に用い、「次代を担う若い農業者とその家族を前面に押し出しました」と事業への熱い想いを語られました。

次に、衆議院議員 武部 新氏、河原田 英世氏ほか来賓の方々より祝辞を戴き、網走開発建設部 北見農業事務所 村井優峰所長より会場に写しだされた動画により事業概要・工事状況など詳細な事業紹介の後、受益者を代表して国営事業推進協議会 西原 芳明会長から、国営事業により条件不利地が整備され、これから更に本町の農業が受け継がれてゆくと述べ、各関係機関への尽力に感謝されました。

その後、津別町議会議長 鹿中順一 氏の音頭により「オーガニック牛乳」で乾杯し祝宴が開始され、事業完成を盛大にお祝い致しました。

最後に、佐野組合長から締めの挨拶を発し、事業へのお礼に加え「強い農業と豊かな魅力ある農村づくりは、生産基盤である農地整備が最も重要であり、担い手農業者が安心して就農できる条件整備が将来の津別農業の発展に繋がる」と述べ、“みらいへ持続可能な農業”を祈念し万歳三唱により祝賀会を終了しました。

◇事業概要

- 総事業費　約 174 億円
- 事業工期　平成 27 年度～令和 6 年度
- 受益面積　2,433ha
- 受益戸数　120 戸
- 主要工事　区画整理　2,425ha（勾配修正・暗渠排水・客土・石礫除去外）
  農地造成　8.0ha

▲佐野組合長

▲佐藤町長

▲西原協議会会長

▲武部代議士

▲川原田代議士

▲鹿中町議会議長

ＪＡ情報館

ＪＡつべつ青年部 第４６回定期総会を開催！

２月12日ＪＡ会議室にて、ＪＡつべつ青年部（池田健太部長）は部員28名出席のもと、来賓に佐野組合長、鹿中理事を迎え、第46回定期総会を開催しました。

食農教育活動として『アソビバ！つべつ』では子供達と一緒に「うるち米」「枝豆」「南瓜」「トウモロコシ」の４品目を作付し、鳥獣対策として畑の周りにネットを設置しました。調理実習は、女性部とフレッシュ・ミズの協力のもと実施しました。

町内草刈り活動、廃プラ回収、出前授業活動（網走市立呼人小学校）、ＳＮＳ活動報告、夏季スポーツ交流会（モックルと一輪車リレー）冬季スポーツ交流会（ドッチボールとバスケットボール）道内視察研修、ＪＡ・町イベント協力等積極的に実施しました。

又、講習会として、小麦生育調査を実施し、イベント部会の企画により「プラウ・サブソイラー」の基本的な使用方法について、スガノ農機と北海道クボタより講師を招き、作業機の役割等の講話を受けました。

令和７年度事業計画では、スローガンとして『青年部盟友の活動の意識を高める』事を掲げ、ＪＡ事業への協力、交流・研修活動、食育活動を中心に取り進める方針が確認され、部員の新規加入５名・脱退６名の承認されました。

又、役員改選にあたり新役員体制が承認されました。

【新役員体制】

部　長：西原浩一郎
副部長：泉　　勇登、細川　源生
書記長：田原　和哉
理　事：迫田　康平、五島　正平、迫田　敦志
監　事：池田　健太、長瀬加寿哉

女性部とフレミズ二部合同で味噌作り講習会を開催！

２月５日食品加工研修センターにて、女性部員10名、フレッシュ・ミズ会員２名の合計12名が参加し、二部合同での味噌作りを行いました。

今年は、手際よく作業が進み、重量にして225kgの味噌を仕込むことができました。手作り味噌は、土用が過ぎれば食べられるので、熟成して出来上がるのが楽しみです。

ＪＡ情報館

ＪＡつべつフレッシュ・ミズ定期総会を開催！

２月12日ＪＡ研修室にて、ＪＡつべつフレッシュ・ミズ（金一和美会長）は、会員全員（５名）出席のもと定期総会を開催しました。

来賓の金田女性部長からは、令和８年度からオホーツクＪＡ女性部の会費の値上げと今後の女性協の継続参加の検討と「会員みんなが興味を持って喜んで参加したいと思う企画内容を考え、これからもフレミズ活動を大いに楽しんでほしい」と御祝辞を頂きました。

令和６年度の事業報告として、「リボンレイ作り講座」や「アルバムカフェ作り講座」「料理教室（シズノきキッチン」で、意見交換会等を実施し、女性部との二部合同味噌作りや豆腐作り、パン作り講習会等への参加で、親交を深める事が出来ました。

令和７年度の事業活動として、会員数を増やすことを目標に、参加しやすく楽しめる活動を目指し運営します。意見交換会・研修会・研修旅行等の他、女性部行事にも参加します。原案通り全て承認されました。

【新役員体制】

部　長：堂藤　友世
副部長：幾島　美幸
監　事：佐野　綾子

▲金田女性部長挨拶

▲金一前部長

▲堂藤新部長

ＪＡつべつ女性部 第７０回定期総会を開催！

２月17日ＪＡ会議室にて、部員14名、フレッシュ・ミズ会員２名の出席のもと、ＪＡつべつ女性部（金田美喜恵部長）は、第70回定期総会を開催しました。金田部長の挨拶後、来賓の中西参事から御祝辞を頂きました。

令和６年度事業報告として、不安定な世界情勢による混乱と高温多雨等の気候変動で大変な１年でしたが、コロナ禍が落ち着て活動も今まで通りに出来るようになり４年ぶりに道外研修を実施する事が出来ました。

令和７年度の事業計画として、世代別・目的別の組織づくりの推進と、女性部組織の充実と活性化に取組、部員の意見を反映しながら「動く・学ぶ・創る・楽しむ」を主軸に全体活動を展開する活動計画が承認されました。

【新役員体制】

部　　長：細川　タケ
副　部　長：金田美喜恵、金一真由美
事務局長兼会計：迫田彩由美
監　　事：石川あけみ

▲金田部長

▲細川新部長

ＪＡ情報館

玉葱振興会 第５３回通常総会を開催！

２月６日ＪＡ会議室にて 24 名出席のもと、津別町玉葱振興会（真木喜一会長）は第 53 回通常総会を開催しました。

議長に工藤雅史氏が選出され、会員からは、会費の賦課（会員割等）の増額になった経緯及び広域連津別工場の選別機械等の現状を踏まえ、茎葉処理施設等の整備について計画的に関係機関と検討を進める旨、質問意見がなされましたが、原案通り全議案が承認されました。令和７年度産玉葱の諸対策（各種料金等）について、承認されました。

総会終了後、岐阜中央青果㈱名畑課長代理より令和６年産玉葱の市場販売情勢等の講演を行いました。

▲佐野組合長

▲真木会長

▲名畑課長代理

玉葱振興会青年部 第５２回通常総会を開催！

２月６日ＪＡ会議室にて 14 名出席のもと、津別町玉葱振興会青年部（十河孝文会長）は第 52 回通常総会を開催しました。十河青年部長の挨拶と来賓の玉葱振興会 真木会長からの御祝辞を頂きました。特に質疑等は無く原案通り全議案が承認されました。

▲十河会長

▲真木振興会長

ＪＡ情報館

肉牛振興会 第４８回定期総会を開催！

２月18日ＪＡ会議室にて、津別町肉牛振興会（迫田隆会長）は、第48回定期総会を会員11名、役場２名，ＪＡ４名の合計17名出席のもと開催しました。迫田会長と佐野組合長の挨拶の後、来賓として津別町産業振興課 石川課長よりご祝辞が述べられました。

会員からは、２年後に迎える50周年式典についてや、令和９年に予定している第13回全国和牛能力共進会の北海道開催が決定していることから、視察及び懇親会を検討する事としました。小麦収穫も早まる傾向なので交流会の開催時期検討の意見がありました。

尚、原案通り全部の議案が承認可決されました。また、役員改選にあたり新役員体制についても承認されました。

【新役員体制】（再任）

会　長　　迫田　　隆
副会長　　小野塚一郎　　安田　一平
監　事　　石井　　純　　北野　淳志

津別町農業新規参入者受入協議会　先進地視察研修を実施！

２月12日から１泊２日で５名参加のもと、津別町農業新規参入者受入協議会（小林会長）は、視察研修を行いました。

１日目は、酪農学園大学にて情報交換を行い「実習生受入」を必須事業から無くした為、年々参加者は減少し、併せて受入農家も減ってきている。

学生は、経験者の報告記録を見て研修先の農場を選んでいるので、実績のある農場が人気の様です。大学に持っている情報が古い事から、４月中旬頃までに今年度の情報を提供する事としました。

２日目は、石狩市農業総合総合支援センターを視察しました。当支援センターは、平成12年４月１日に設立し、石狩市・旧石狩市農業協同組合・石狩市農業委員会の三者で構成されています。

近年、農業所得が伸び悩み、安定した農業経営を維持する事が困難な状況を踏まえ、新しい農業施策の推進体制として「農業総合支援センター」が設立されました。

現在12戸18名が新規参入しており、令和７年度～令和９年度までに毎年２戸が新規就農する予定です。今後、ミニトマトのみの研修プログラム以外に就農プログラムを検討し、露地栽培での新規就農の問合せの対応に向けて、検討が必要の様でした。

２日間を通して、特に新規就農に向けた情報交換の必要性を強く感じた意義ある視察研修が出来ました。

インターシップ受入を実施！「社会に出る前の職場体験」

２月５日職員採用活動の一環として、インターンシップを実施しました。

インターンシップとは、「社会に出る前の職場体験」です。企業で仕事をしている人の話を大学生が直接聞いたり、実際の仕事を体験したりすることで、業種・業界・職種の違い、職員の雰囲気、企業風土などをしることができます。

今回は、採用メンバーのＪＡ職員が中心となり対応し、当ＪＡ採用獲得に向けての重要な取組みとして実施しました。

インターンシップの取組は、マイナビを通じて３回予定しています。その３回目が今回（国立大学３年生：21歳男子大学生）の職場体験自習を行いました。

ＪＡ情報館

『東野ひでき君を励ます会』を開催！

ＪＡグループ北海道では、本年７月に行われる予定の「参議院議員選挙全国比例区」に向けて、全国ＪＡグループからの候補予定者に決定している東野ひでき氏（ＪＡ道北なよろ会長理事・ホクレン代表監事）に対する支援の輪を広げるため、２月26日に当ＪＡに来組され「東野ひでき君を励ます会」を開催しました。

励ます会には、役職員60名の出席のもと中西参事の司会により、当ＪＡ佐野組合長、渡辺会長（オホーツク組合会長・ＪＡめまんべつ組合長）、石井会長（北海道信連会長・ＪＡ清里組合長）からの激励挨拶の後、東野ひでき氏より、農業には多くの課題が山積している中、これを解決するためには、現場に寄り添った農業政策の確立が必要です。農業者やＪＡ役職員の声や思いをカタチにすることが必要です。わが国の『食』『農』『地域』を未来につなぐため、消費者をはじめ多くの方と手を携えることの必要性を強く訴え、決意表明されました。

最後に当ＪＡの西原青年部長の音頭で「団結ガンバロー」三唱で締めくくりました。

カルビーポテト㈱ 地区懇談会を開催！

２月20日ＪＡ会議室にて生産者20名、カルビー㈱４名、農薬会社５名、ＪＡ３名の合計36名出席のもと、カルビーポテト㈱による令和６年度地区懇談会が開催されました。

カルビー馬鈴薯生産組合 柏木組合長の挨拶の後、カルビーポテト㈱　本田津別支所長と安藤様より令和６年度の生産状況からの考察について説明を受けました。

最後に、令和７年生産に向けた農薬講習会を行い、各農薬会社の担当者より商品紹介の説明を受けました。

※商品紹介	①ポテトール	ＯＡアグリ㈱	大塚課長　様
	②土いきかえる	環境大善㈱	金子Ｍｇ　様
	③ＥＦポリマー	ＥＰポリマー㈱	大塚職員　様
	④アビオスリー	シンジェンタジャパン	山本職員　様
	⑤フルボディー	㈱サングリーン	相馬職員　様

又、カルビー馬鈴薯生産組合より、令和６年産品種別粗反収入ベスト３の表彰が行われ、品種別の上位生産者に対し表彰状が贈呈されました。

◎ 2024年産品種別粗反収入表彰

○トヨシロの部
- 最優秀賞：㈲すばる
- 優 秀 賞：後藤　拓哉
- 優 秀 賞：松田　耕治

○スノーデンの部
- 最優秀賞：藤原　英男
- 優 秀 賞：㈲竹中農場
- 優 秀 賞：㈲仲田農場

○ポロシリの部
- 最優秀賞：長瀬　信一
- 優 秀 賞：藤原　英男
- 優 秀 賞：㈲仲田農場

▲トヨシロの部

▲スノーデンの部

▲ポロシリの部

▲柏木組合長

ＪＡ情報館

第３回津別スマート農業普及コンソーシアム会議を開催！

２月21日ＪＡ会議室にて２２名出席のもと農山漁村振興交付金 情報通信環境整備対策「計画策定事業」に係る第３回津別スマート農業普及コンソ―シアム会議を開催しました。

内容は、有岡嘱託から経過報告を行い、ＮＴＴコミュニケーションズ北海道支社 阿部職員と㈱インターネットイニシアティブ（ＩＩＪ）ＩｏＴビジネス事業部 小関プロダクトMGから実証結果（成果品）について説明がありました。

各効果測定、確認等は令和６年度を持って終了し、成果品の契約事項以外で ①４衛星の必要性 ②Starlink とLoRaWAN の２点が追加されました。

令和６年は、９地区のうち５地区で電波調査等を実施し、地形によって電波の届く範囲が異なるため、必要な基地局数を調査しました。残りの４地区については、令和７年夏に調査を実施する予定ですが、その結果に基づき、交付金を活用し、令和８年から令和10年の間に９地区全ての設置を終える計画となっております。

衛星データを活用した圃場マップ利用に関する説明会を開催！

２月25日ＪＡ研修室にて25名出席のもと、衛星データを活用した圃場マップ利用に関する説明会を行いました。

内容は､①ザルビオ説明会（BASF）②ケイサス説明会（クボタ）③ドローンセンシング説明会（シエルイノベーション）より、生育マップ・可変施肥マップ作成に関する説明がありました。

可変施肥対応のブロードキャスターの導入により、衛星データ活用による圃場マップの利用が必要となります。

2024年度をもって、スペースアグリの終了に伴い、サービス内容が変更となることから、今後の対策等について確認されました。

▲ザルビオ説明会

▲ザルビオ説明会

▲ケイサス説明会

▲ケイサス説明会

▲ドローン説明会

▲ドローン説明会

年金友の会情報

津別町年金友の会 第38回定期総会を開催！

２月28日ＪＡ会議室にて会員59名参加のもと、津別町年金友の会（山田照夫会長）の定期総会を開催しました。山田会長から「会員の皆さんからいろいろ意見を頂いて、会員相互の親睦を図り活動に参加して頂けるように今後も進めて参りたい」と挨拶を頂いた後、佐野組合長より御祝いの言葉を頂きました。

総会議長に丸尾諭氏が選任され、提案事項全ての議案について満場一致の拍手を持って可決承認されました。

旅行事業については、㈱農協観光北見エリアセンター 天野エリア長より、旅行情勢について説明を受けました。令和６年度は21名の参加で１泊２日の道内旅行の代替案として（塩別つるつる温泉）にて温泉保養を実施しました。令和７年度については、１泊２日の温泉保養を計画しています。

議事第４号 役員の改選については、井上隆幸役員選考委員長より、12名の役員選考委員で構成される新役員選考委員会の選考過程について報告がなされました。

尚、新役員体制９名については、互選により下記の通り承認され、上山勉副会長の閉会挨拶にて総会を終了しました。

尚、総会終了後、新たな行事の試みとして、ビンゴゲームを開催し楽しい時間を過ごしました。

【新役員体制】

会　　長	山田　照夫
副 会 長	上山　　勉、鹿中　順一（新任）
役　　員	堂籐　　優、竹内　武二、幅口　　功、古澤　秀明
監　　事	佐藤　正明、柏木　　茂（新任）

▲井上選考委員長

▲丸尾総会議長

▲佐野組合長

▲山田照夫会長

▲農協観光 天野エリア長

▲総会の様子

▲総会役員

▲ビンゴゲーム

令和７年度　各種行事開催予定

温泉保養　11月13日（木）～14日（金）　１泊２日

ゲートボール大会	パークゴルフ大会	囲碁大会
【１回】　４月１０日（木）	【１回】　５月２２日（木）	【１回】　３月１１日（火）
【２回】　６月１２日（木）	【２回】　６月１９日（木）	【２回】　５月１３日（火）
【３回】　７月１０日（木）	【３回】　７月１７日（木）	【３回】　７月　８日（火）
【４回】１０月　９日（木）	【４回】　８月２１日（木）	【４回】　９月　２日（火）
【５回】１１月　６日（木）	【５回】　９月１８日（木）	【５回】１１月１１日（火）
【６回】１２月　４日（木）	【６回】１０月１６日（木）	【６回】１２月　９日（火）

会員募集中!!

年金友の会では、会員相互の親睦を図り、健康で明るい生き甲斐のある生活を送る事を目的に、今後も仲間との親睦や体力づくりの一環として、多数の会員が年金友の会の活動に参加して頂けるように様々な事業を開催して参ります。

また、新規会員（当ＪＡで年金受給される方が対象）も常時募集しておりますので、知人・友人等お誘い合わせの上、地区担当役員又はＪＡ事務局（金融共済課）までご連絡をお願い致します。年会費1,200円、会員特典として誕生月にお誕生日プレゼントを進呈しています。

営農課からのお知らせ

3月15日から4月15日までの営農技術

1　融雪材散布による融雪の促進

提供：北海道

本年の土壌凍結深推定システムでは12月22日の根雪以降降雪量が増えず、凍結深は36㎝程度まで達しています。野良イモが凍結枯死する-3℃以下になっている土壌の深さは16㎝程度となっています。地域によっては土壌の融解の遅れも懸念されます。早期に融雪させ、ほ場の乾きを促進させ、砕土性を高めて下さい。ばれいしょ後の圃場では凍結が15㎝以上入ったことから野良イモの発生は少ないと思われます。

融雪材の散布により、融雪は10日以上早まるので、秋まき小麦では雪腐病の軽減や生育期間確保のため、早期の融雪を行う必要があります。特に昨年、茎数の少ない圃場や雪腐病防除が未実施のほ場は融雪を促進する必要があります。

また、たまねぎ・春まき小麦やてん菜・馬鈴しょの作付け予定の圃場も、は種作業や移植作業が遅れないよう融雪材を散布し融雪を促進し、圃場の乾燥化を図って下さい。

融雪材は、日中にプラスの気温となり、雪解けが進む日平均気温が－３℃以上の頃（平年では3月14日頃、昨年は3月10日頃）を目安に散布します。融雪材は、吹き溜まりや防風林の際など積雪量の多い場所には確実に散布して下さい。

融雪材は均一に散布せず、ムラに散布することにより、雪解けが始まった時に表面積が広がり、より融雪が促進されます。

たまねぎの早期移植作型を予定している圃場では、融雪の遅れによる定植作業の遅れ、老化苗定植による活着不良や初期生育不良、タネバエの被害等の恐れがあるので、融雪促進を徹底して下さい。

2　融雪水の排除

融雪促進を行う場合、融雪水が圃場に停滞することがあるので、排水溝の状況を確認し、速やかに排除できるようにしてください。秋まき小麦の圃場に融雪水が滞水すると、生育が遅れるほか、枯死しやすくなるため、排水溝が十分に機能するように整備する必要があります。

3　融雪材の散布量と回数

融雪材としては、防散融雪タンカル等を40～60kg/10aを散布する必要があります。融雪材の散布後に20cm以上の降雪がある場合は効果が劣るので、再散布できるよう、資材の確保に努めて下さい。

4　育苗ハウス等の設営

健苗育成には、床土の十分な乾燥と適期は種が重要です。そのためには、育苗ハウス設置場所の除・排雪を行い、早めにビニール張りを完了する必要があります。

この時期に降雪があった場合、厳冬期に比べて雪は倍以上の重さとなるので、こまめに雪下ろしをして下さい。

5　秋まき小麦の黄化症状対策

近年、縞萎縮病の発生が拡大しています。融雪直後から黄化症状は見られますが、肥料切れによるものや、水ヤケによる黄化症状と見分けがつきにくいです。縞萎縮病の黄化の特徴としては、葉にまだらに黄化がみられること、追肥をしても黄化が解消されないことがあげられます。秋まき小麦の黄化が気になる場合は、早期に起生期追肥を実施して、黄化葉が回復するかどうか確認して下さい。縞萎縮病は4月中旬から黄化が始まり5月中旬まで（次葉が覆うまで）黄化が気になります。土壌の菌に住み着くウイルスですので、その後の耕起作業等で他の圃場へ土壌を移動させることで拡大していきます。ほ場間の作業機の移動に当たっては十分注意して下さい。

本年もコムギ縞萎縮病の検診を実施します。既に発生が確認された生産者の圃場は行いませんが、未発生生産者で黄化症状が長引く圃場は、検診用サンプルを採取させていただきます。

6　育苗管理（たまねぎ・てん菜）

育苗管理にあたっては、定植の遅れに備えて次の点に留意して下さい。

（1）温度管理は適温の範囲内で低めとして下さい。ただし、極端な低温管理は苗質の低下や生理障害の発生を招くため、あくまでも適温内で管理して下さい。

（2）灌水は控えめとしますが、極端に萎れさせないように管理して下さい。

（3）定植が遅れて肥料切れを起こしそうな場合には、液肥等で追肥を行う必要があります。

7　麦踏み

凍結の入った麦畑は、凍上（根浮き）や断根による茎数の減少が発生します。（特に大豆の中のばらまき栽培は土壌に根しか入っていないので顕著）。融雪後圃場が乾き次第（タイヤに土が付かなくなったら）タイヤローラーや平ローラ（ケンブリッジ等では麦の茎葉を傷つける）による麦踏みを行い、麦を鎮圧して下さい。

圧着することによって新根の発生が促され、茎数も増加します。また、麦踏みにより草丈も抑制されることから、倒伏防止効果も期待できます。

大豆後のばらまき栽培では、平ローラーは大豆刈り株の上にしかローラーがかからないため、タイヤローラーを使用して下さい。

注意：幼穂形成期（平年5月5日）以降にローラー掛けすると穂に障害が出る場合があるため、幼穂形成期前に終わらせて下さい。

JA自己改革のシンカ※

農業編

No.1
2024.11.7

※シンカは、
以下の3つの意味を込めた言葉。

自己改革の**進化**から**深化**へ、
真価を発揮する
3つの「シンカ」

北海道　JAつべつ

農業者の所得増大・農業生産の拡大

スマート農業技術で生産性向上 持続可能なアグリシティを構築

ロボット技術やICTを活用するスマート農業研究会を発足

JAつべつは2016年、「津別町スマート農業研究会」を立ち上げ、可変施肥機を使用した小麦の追肥作業に乗り出しました。可変施肥機は、トラクターで直進しながら自動で肥料の量を調整して施肥する装置で、ジャガイモでも効果を検証しました。研究会は、管内農家41戸が会員となって発足（現在74戸）。同町は中山間地域にあり、加えて管内では複数戸法人の設立などで経営規模が拡大しており、畑作物の収量や品質、生産性の向上が課題となっています。JAは、「条件不利地でも安定生産できる技術を確立する」と、ロボット技術やICTに活路を見いだすこととしました。

スマート農業技術で畑作物の生産規模を維持・拡大

現在、畑作物の病害検知システムや大型スマート農機によるコントラクター（農作業受託組織）※を導入するなど、組合員戸数が減る中でも、生産面積の維持・拡大につなげています。17年に立ち上げたテンサイ栽培のコントラクターでは、購入に約1億円かかる6列の収穫が可能な大型収穫機を導入。ジャガイモでも2列掘りできるハーベスターなどで農家の負担軽減を図り、適正輪作の維持につなげています。JAの23年度の生産規模は約4885㌶で、5年前より農家は約20戸減少しましたが、一連の取り組みで生産規模を維持できています。

※コントラクター（農作業受託組織）：畜産、畑作農家の労働負担軽減へ、飼料生産等に関わる堆肥散布や播種、収穫などの作業を受託する外部組織。農業法人やJAなどが担う。

導入された6列テンサイ収穫機（ホルマー社）

持続可能なアグリシティ構築の喫緊の課題は情報通信インフラの整備

研究会は、研修会や情報交換会を年5回ほど開催し、産地側で将来のビジョンを明確に描けるようにしています。今では約140台の自動操縦トラクターが稼働するなど、組合員の約7割が何らかのスマート農業技術を導入しています。

JAの佐野成昭組合長は「津別町の3分の1は通信電波がつながらない不感地帯」と、情報通信インフラの未整備が、スマート農業導入の障壁になっていることを問題視しています。今後は、交付金等を活用して不感地帯の解消にむけて情報通信インフラの整備に取り組みます。

ほ場に設置した無線基地局（LoRaWAN®）で情報通信インフラを整備

生産規模と組合員数の推移

	2018年	23年	28年（目標）
生産規模（ha）	4,850.0	4,885.5	4,885.5
正組合員（人）	214	201	178

（出所：JAの資料）

組合員の声

- 今まで5日かかっていた作業が1日半で終わるなど、作業の効率化、負担軽減につながっている
- タマネギを15㌶栽培していてジャガイモに手が回らない中、コントラクターのおかげで輪作を維持できる

問い合わせ　JA全中 JA改革・組織基盤対策部 JA改革・組織基盤対策課 ☎03-6665-6240 ✉jakaikaku.s@zenchu-ja.or.jp

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。
https://org.ja-group.jp/challenge/

発行／JA全中（一般社団法人 全国農業協同組合中央会）

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

第一回臨時理事会報告

開催日 令和7年2月14日

報告事項

①組合員の動静について
②営農貯金の造成状況について
③令和7年度営農計画書の提出状況について

付議事項

議案第1号　令和7年度余裕金運用方針及び現金手持高基準額並びに当座預金預け先別在高の基準額の設定について
議案第2号　貸付金利率の最高限度について
議案第3号　信用供与の最高限度について
議案第4号　役員と組合の取引基準について
議案第5号　令和7年度役員報酬額並びに支給方法について
議案第6号　令和6年度決算方針について

協議事項

①令和7年度事業計画の策定について（施設投資計画）
②地区懇談会の開催について

第一回理事会報告

開催日 令和7年2月26日

報告事項

①令和6年度決算監査報告について
②常任委員会の顛末について
③コンプライアンス・プログラムの実践状況について（下期）
④内部監査計画に基づく実施状況について（下期）
⑤令和6年度経営定期点検の実施状況について
⑥特定組合員の経営状況について
⑦各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
⑧各課報告事項について

付議事項

議案第1号　令和6年度自己査定結果について
議案第2号　繰延税金資産の減少及び税効果積立金の取崩について
議案第3号　固定資産等リスク軽減積立金の取崩について
議案第4号　令和7年度対策組合員等の認定・解除について
議案第5号　令和6年度貸借対照表・損益計算書・剰余金処分（案）の承認について
議案第6号　令和7年度事業計画について
議案第7号　通常総会の開催について
議案第8号　令和7年度コンプライアンス・プログラムの設定について
議案第9号　令和7年度経営定期点検実施計画について
議案第10号　固定資産の取得について
議案第11号　出資金の持分譲渡について

協議事項

①地区懇談会提案事項について

JA YOUTH　JA TSUBETSU YOUTH

JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です！
是非ご覧下さい！Facebook、Instagram

Facebook QR　Instagram QR

3月下旬・4月上旬の主な行事

3月	16日	日		4月	1日	火	
	17日	月			2日	水	
	18日	火			3日	木	
	19日	水	企画会議 監査代替的調査（期末）（～21日）		4日	金	
					5日	土	
	20日	木	春分の日		6日	日	
	21日	金	特栽協議会総会		7日	月	
	22日	土			8日	火	
	23日	日			9日	水	監査代替的調査（信連）（～10日）
	24日	月	人事異動辞令交付		10日	木	企画会議
	25日	火			11日	金	通常総会
	26日	水			12日	土	
	27日	木	スマート農業研究会総会		13日	日	
	28日	金	農業法人会総会・農作業安全講習会		14日	月	
	29日	土			15日	火	
	30日	日			16日	水	
	31日	月	退職辞令交付、総会議案配布		17日	木	

発行　津別町農業協同組合　〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通30番地1
TEL0152-76-3322 FAX0152-76-3594　金融共済課直通電話 0152-77-3170
印刷　有限会社 サンケイプリント社

ＪＡつべつ　検索
http://www.jatsubetsu.or.jp